

平成 29 年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

目 次

◆ 平成 29 年度事業計画書	1
I 公益目的事業	
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	3
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 「サケのふるさと 千歳水族館」管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
◇ 情報提供活動	8
◆ 平成 29 年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 平成 29 年度資金計画書	21

平成 29 年度事業計画書

事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第 4 条の(1)及び(2)に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業（児童・生徒、一部一般を含む）

ア アクアリウム・ナイトツアー

夜の展示生物観察を主体とする、ガイドツアープログラム。小学校高学年～中学生を対象とし、千歳水族館に宿泊しながら飼育業務なども体験する。
(夏休み期間中、1泊2日)

イ サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

早朝の千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、小学校高学年～中学生を対象とし、サケシーズンならではの宿泊学習を行う。(10月上旬、1泊2日)

ウ サケふるセミナー

土日祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象に実施。サケの採卵といった体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムの他、千歳科学技術大学や北海道大学など、外部機関と連携した教室を開催する。

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子ども達による子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすべきジュニア・リーダーの養成講習会を、初級・中級・上級の3段階に分けて実施する。また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動を行うための基礎知識を学ぶ。(4月及び5月に前期2回、12月及び2月に後期2回の合計4回)

(3) シニア・リーダー活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会

石狩管内子ども会シニア・リーダー及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術交換研修や活動の情報交換をしながら子ども会活動を推進、支援するリーダーの資質向上を目指す。(9月中旬)

イ シニア・リーダー研修会

子ども会活動及び千歳水族館学習活動を支援するシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える実力の育成を図る。(3月中旬)

ウ シニア・リーダー交流会

道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互研鑽を図る。(3月下旬)

エ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、青少年育成に係る様々な事業への支援活動を積極的に行う。(随時)

(4) 自然教室

夏休み期間中、小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高周辺での集団宿泊生活や野外活動、さらには自然とのふれあいを通して、団体生活の規律を身につける。(8月上旬)

(5) 冬休み体験教室

小学校4年生から中学校3年生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではのスキー体験、社会見学等を通して団体生活の規律を身につける。(1月上旬)

(6) 体験学習

小・中学生を対象に千歳市特産の食材などを使って調理体験を行い、地元への関心を高めるとともに、食についての知識も深める。(7月、3月)

2 社会教育関連事業

(1) 緑の村キャンプ大会(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、他地域の子ども同士の友情を深める。

(7月中旬～下旬、町内会(1泊2日)と一般(2泊3日)の5日間)

(2) 千歳の子どもクリスマスの集い(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

小学校1年生以上の子ども達を対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して相互の親睦を深める。(12月上旬)

(3) ちとせっ子雪遊び(千歳市子ども会育成連合会共催事業)

冬期間運動不足になりがちな子ども達の体力向上・健康増進を図るため、道の駅サーモンパーク千歳内のイベント広場を中心に屋外でのレクリエーションゲームを行う。(2月上旬)

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

小・中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」、「人工採卵・受精体験」、「水生生物観察」、「アイヌ文化学習」など、地域特性を生かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。

(2) 職業体験への協力

小・中学校の職業体験の場として、また専門学校や大学生のインターンシップや、博物館相当施設として学芸員実習も受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。

(3) 「サケ稚魚による子供たちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流事業に協力する。(1月～3月末)

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

科学の祭典千歳大会や石狩管内の博物館施設連携によるサイエンスフェスティバルなど、各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条の(3)に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 「サケのふるさと 千歳水族館」管理運営事業

公益財団設立の目的である千歳市における青少年の育成をはじめ、社会教育の普及振興を図るための必要な事業の一つである水族館の維持運営を図るとともに入館者の拡大推進に努める。

(1) 常設展示

ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を、水量266トンの大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内だけでなく海外の淡水魚類や水生植物、鳥類のカイツブリや爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物多様性や水辺生物への興味関心を高める。

イ 体験コーナー

コイ科魚類を中心とした全面透明アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）の水槽、またザリガニの釣り堀や急流を遡る魚の生態を観察できるドーナツ型の流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で紹介する。映像は2ブース設け、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、環境の変化などを観察する。また、サケの生態や水中観察窓における観察記録などに関する解説コーナーを設置し、DVDやコンピュータを用いた映像機器などにより紹介し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

サケと人、千歳との関わりの歴史を、食文化を中心に解説。サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、またアイヌ文化におけるサケ料理や各地域の伝統的なサケ料理法などとともに、様々なサケ料理のレシピも紹介する。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時における講話や質問対応、雨天時の昼食場所などの他、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図っていく。

(2) 企画展示

ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを実施し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、ベニザケなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程や孵化、仔魚から稚魚への成長過程など、各季節の成長過程を展示する。

(3) 各種体験学習及びイベント

ア 水族館裏方探検隊（バックヤードツアー）

希望する学校団体など 30 名ほどを対象に、水族館の裏側探検や餌やり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアや、しおりなどの製作を通じ、サケを余すことなく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工孵化放流事業への理解を深める。（3月）

エ 季節のイベント・体験

ゴールドデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマスなどに、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

オ 年間パスポート会員還元サケツアー

サケの遡上時期に合わせ、市内旅行会社と連携して、年間パスポート会員を対象とするツアーを実施。千歳水族館学芸員とともに、サケに係わる地域や施設を訪れ、サケに関する知識を深めるとともに、会員間の交流を図る。

カ ちょこっと体験

冬休みや春休み、土日祝日などに、有料で餌やり体験やバックヤードツアーなど、水族館飼育業務に関する体験を行う。

(4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努めるとともに、企画展やイベントを実施し、入館促進対策として、道の駅スタンプラリーや帳持参者に対する優待料金の通年適用についても実施する。

特に、平成29年度は、リニューアル3年目になり、よりタイムリーな広告宣伝や旅行代理店、ホテル、レンタカー、さらには学校等教育関係者への営業に努める。

平成29年度入館者数の目標 : 288,000人(内、有料入館者188,000人)

ア ネットワークカメラ(ホームページとの連動)によるリアル映像発信
インターネットホームページによりリアルタイムの水中観察室およびインディアン水車の様子を放映し、入館者の増加を図る。

イ フロアマッピングの新設

水中観察ゾーンにいたるスロープの床面に、サケや千歳川に関わる様々な生き物のインタラクティブ(赤外線センサーを用いて人の動きに反応し変化する)映像を投影。千歳川の水中へ潜る期待感を高めるとともに、斬新な空間演出により話題性を高め集客を図る。

ウ 多言語システムの導入

近年増加している海外からの小団体旅行(FIT)に対応するため、来館者が持参のスマートフォンやタブレットに、オリジナルのアプリをインストールすることで、展示水槽や生物についての多言語による解説を提供する。

エ 修学旅行等の団体誘致

(一社)千歳観光連盟がコーディネートしている千歳市周辺の体験学習コースの一つとして参加し、修学旅行を含む団体客の誘致に努める。

オ 水族館施設の利用拡大

水族館の営業時間外にも大水槽前や学習室をパーティーやサイエンス・カフェ等による利用拡大を図り、水族館の知名度を上げ入館者の増加に結びつける。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料化

市内小中学生の年間パスポートの無料化を継続し、水族館の利用促進を図るとともに、保護者等の入館者増加も図る。

(5) サケのふるさと村教授会との連携

市民有志による館内の案内業務や各種行事の支援をいただいております。さらなる連携強化に努めると共に、水族館のボランティア組織として支援する。

2 年間パスポート会員の募集

(1) 個人会員

個人会員は大人・高校生 1,000 円、小中学生 500 円を年会費として負担していただくことにより、加入日から 1 年間何度でも入館できるパスポートを発行するだけでなく会員の同伴者は団体料金で入館できるほか、会員を対象としたプレゼント抽選会等を開催する。

平成 29 年度 個人会員 目標 : 8,700 人

(2) 法人会員

法人会員は年会費 1 口 10,000 円を年会費として負担していただくことにより、加入日から 1 年間は 1 回 5 名まで何度でも入館できるパスポートを発行するだけでなく、6 名以上の同伴者は団体料金で入館できるほか、会員を対象としたプレゼント抽選会への参加や、法人名を表記したプレートを水族館入口に掲示する。

平成 29 年度 法人会員 目標 : 80 口

◇ 情報提供活動

1 サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月発行し、地元新聞紙およびホームページに掲載して情報を提供する。

2 ホームページおよび SNS による情報発信

公式ホームページに加え、Facebook、Twitter、Instagram などの SNS も活用し、各種イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況やサケに関する Q & A などの情報発信に加え、ネットワークカメラを利用した、リアルタイムな水中観察室およびインディアン水車の映像も配信。パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットなど各種デバイスへも対応する。

3 サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどのリアルタイムな情報を、e-mail によるメールマガジンにて配信する。

平成 29 年度収支予算書

収 支 予 算 書 (総 括 表)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	0	0	0	
② 特定資産運用収入	10	0	10	
③ 事業収入	113,178	0	113,178	
④ 会員収入	9,413	0	9,413	
⑤ 補助金等収入	116,450	10,782	127,232	
⑥ 雑収入	26	0	26	
⑦ 施設使用料収入	5	0	5	
事業活動収入 計 (A)	239,082	10,782	249,864	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	177,786	0	177,786	
② 管理費支出	0	10,738	10,738	
事業活動支出 計 (B)	177,786	10,738	188,524	
事業活動収支差額 (A) - (B)	61,296	44	61,340	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	12,760	0	12,760	
投資活動収入 計 (C)	12,760	0	12,760	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	11,291	44	11,335	
② 固定資産取得支出	8,908	0	8,908	
投資活動支出 計 (D)	20,199	44	20,243	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△7,439	△44	△7,483	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入 計 (E)				
	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 借入金返済支出	50,000	0	50,000	
② その他財務活動支出	3,857	0	3,857	
財務活動支出 計 (F)	53,857	0	53,857	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△53,857	0	△53,857	
当期収支差額	0	0	0	

収 支 予 算 書（公益目的事業会計）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	0	3	△3	
1 基本財産利息収入	0	3	△3	
② 特定資産運用収入	10	7	3	
1 特定資産利息収入	10	7	3	
③ 事業収入	113,178	164,950	△51,772	
1 教育事業収入	1,058	1,050	8	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	110,920	162,800	△51,880	水族館入館料
3 体験料収入	1,200	1,100	100	餌やり体験料外
④ 会員収入	9,413	8,400	1,013	
1 個人会員会費収入	8,613	7,600	1,013	
2 法人会員会費収入	800	800	0	
⑤ 補助金等収入	116,450	71,317	45,133	
1 教育事業補助金収入	21,475	18,639	2,836	
2 水族館管理運営事業補助金収入	33,684	2,477	31,207	
3 特定資産取得補助金収入	11,291	201	11,090	
4 水族館再整備事業補助金収入	50,000	50,000	0	
⑥ 雑収入	26	26	0	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	25	25	0	
⑦ 施設使用料収入	5	5	0	
1 施設使用料収入	5	5	0	
事業活動収入 計 (A)	239,082	244,708	△5,626	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
2 事業活動支出				
① 事業費支出	177,786	185,825	△8,039	
1 教育事業費支出	22,533	19,690	2,843	
役員報酬支出	448	201	247	教育事業費支出の説明
給料手当支出	13,628	11,578	2,050	人件費 16,565
福利厚生費支出	2,489	2,078	411	車両リース等経費 944
報償費支出	629	629	0	ジュニア・シニアリーダー講習会経費 1,279
旅費交通費支出	158	163	△5	緑の村キャンプ 大会経費 1,346
通信運搬費支出	173	173	0	冬休み体験教室経費 636
備品費支出	567	588	△21	自然教室経費 494
消耗品費支出	947	937	10	子ども会関係経費 330
印刷製本費支出	314	173	141	サケふるセミナー等経費 54
光熱水費支出	42	42	0	ちとせつ子雪遊び経費 138
使用料及び賃借料支出	1,091	1,086	5	体験学習事業経費 62
車両経費支出	944	944	0	クリスマスの集い経費 90
保険料支出	105	105	0	ハロウィンイベント等経費 33
手数料支出	4	4	0	その他経費 562
食糧費支出	734	734	0	
原材料費支出	11	11	0	
負担金支出	228	223	5	
雑支出	21	21	0	
2 水族館管理運営事業費支出	155,253	166,135	△10,882	
役員報酬支出	1,344	601	743	水族館管理運営事業費支出の説明
給料手当支出	40,208	37,886	2,322	人件費 59,701
賃金支出	9,289	5,928	3,361	施設維持管理経費 39,956
福利厚生費支出	8,860	7,664	1,196	宣伝活動費 19,303
会議費支出	40	40	0	租税公課 11,203
旅費交通費支出	3,179	3,618	△439	クーポン券等手数料 3,457
通信運搬費支出	999	999	0	展示魚収集飼育経費 3,535
消耗品費支出	8,431	9,136	△705	入場券印刷経費 1,420
修繕費支出	5,563	7,347	△1,784	車両リース等経費 2,310
印刷製本費支出	850	1,129	△279	イベント開催経費 3,825
光熱水費支出	23,551	26,055	△2,504	電話・資料送付等通信費 890

(単位：千円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考	
		使用料及び賃借料支出	1,591	6,369	△4,778	多言語案内システム委託料	363
		車両経費支出	2,310	2,647	△337	電気・機械設備等修繕費	5,563
		保険料支出	793	823	△30	支払利息	235
		手数料支出	3,457	7,757	△4,300	調査研究	453
		諸謝金支出	297	297	0	その他経費	3,039
		交際費支出	150	150	0		
		食糧費支出	50	50	0		
		宣伝広告費支出	13,703	16,893	△3,190		
		イベント費支出	3,825	4,820	△995		
		委託料支出	13,453	14,317	△864		
		原材料費支出	378	378	0		
		租税公課支出	11,203	9,194	2,009		
		負担金支出	982	952	30		
		支払利息支出	235	473	△238		
		雑支出	512	612	△100		
		事業活動支出 計 (B)	177,786	185,825	△8,039		
		事業活動収支差額 (A) - (B)	61,296	58,883	2,413		

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	12,760	3,185	9,575	
1 減価償却積立資産取崩収入	8,908	0	8,908	
2 修繕料引当資産取崩収入	3,852	3,185	667	
投資活動収入 計 (C)	12,760	3,185	9,575	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	11,291	10,580	711	
1 退職給付引当資産取得支出	1,291	580	711	
2 減価償却引当資産取得支出	5,000	5,000	0	
3 修繕料引当資産取得支出	5,000	5,000	0	
② 固定資産取得支出	8,908	1,488	7,420	
1 器具・備品取得支出	8,908	1,488	7,420	除湿器等
投資活動支出 計 (D)	20,199	12,068	8,131	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△7,439	△8,883	1,444	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 借入金返済支出	50,000	50,000	0	
1 借入金返済支出	50,000	50,000	0	H27年借入2/3年分
② その他の財務活動支出	3,857	0	3,857	
1 1年以内リース債務返済支出	3,857	0	3,857	
財務活動支出 計 (F)	53,857	50,000	3,857	
財務活動収支差額 (E) - (F)	△53,857	△50,000	△3,857	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書 (法人会計)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
② 特定資産運用収入	0	1	△1	
1 特定資産利息収入	0	1	△1	
⑤ 補助金等収入	10,782	9,277	1,505	
1 管理費補助金収入	10,738	9,182	1,556	
2 特定資産取得補助金収入	44	95	△51	
事業活動収入 計 (A)	10,782	9,278	1,504	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	10,738	9,183	1,555	
1 一般管理費支出	10,738	9,183	1,555	
役員報酬支出	3,680	2,193	1,487	一般管理費支出の説明
給料手当支出	3,184	3,173	11	人件費 7,867
福利厚生費支出	1,003	761	242	光熱水費等施設管理費 1,306
会議費支出	20	20	0	財務会計システムリース料 577
通信運搬費支出	18	18	0	税理士報酬等経費 506
消耗品費支出	54	54	0	その他経費 482
光熱水費支出	1,306	1,454	△148	
使用料及び賃借料支出	577	603	△26	
保険料支出	40	45	△5	
諸謝金支出	506	506	0	
租税公課支出	337	343	△6	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計 (B)	10,738	9,183	1,555	
事業活動収支差額 (A) - (B)	44	95	△51	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入 計 (C)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	44	95	△51	
1 退職給付引当資産取得支出	44	95	△51	
投資活動支出 計 (D)	44	95	△51	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△44	△95	51	
当期収支差額	0	0	0	

平成29年度 正味財産増減予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

○ 統括表

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	3	△3	
基本財産受取利息	0	3	△3	
② 特定資産運用益	10	8	2	
特定資産受取利息	10	8	2	
③ 受取会費	9,413	8,400	1,013	
個人会員会費収入	8,613	7,600	1,013	
法人会員会費収入	800	800	0	
④ 事業収益	113,178	164,950	△51,772	
教育事業収入	1,058	1,050	8	
水族館管理運営事業収入	110,920	162,800	△51,880	
体験料収入	1,200	1,100	100	
⑤ 受取補助金等	112,166	77,560	34,606	
教育事業補助金	21,475	18,639	2,836	
水族館管理運営事業補助金	33,684	2,477	31,207	
管理費補助金	10,738	9,182	1,556	
特定資産取得補助金	1,335	296	1,039	
受取補助金等振替額	44,934	46,966	△2,032	
⑥ 雑収益	26	26	0	
受取利息収入	1	1	0	
雑収益	25	25	0	
⑦ 施設使用料収入	5	5	0	
施設使用料収入	5	5	0	
経常収益計	234,798	250,952	△16,154	
(2) 経常費用				
① 事業費	232,506	247,579	△15,073	
役員報酬	1,792	802	990	
給料手当	53,836	49,464	4,372	
臨時雇賃金	9,289	5,928	3,361	
退職給付費用	1,291	580	711	
福利厚生費	11,349	9,742	1,607	
報償費	629	629	0	
会議費	40	40	0	
旅費交通費	3,337	3,781	△444	
通信運搬費	1,172	1,172	0	
減価償却費	53,429	61,174	△7,745	
備品費	567	588	△21	
消耗品費	9,378	10,073	△695	
修繕費	5,563	7,347	△1,784	
印刷製本費	1,164	1,302	△138	
光熱水費	23,593	26,097	△2,504	
使用料及び賃借料	2,682	7,455	△4,773	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,254	3,591	△337	
保険料	898	928	△30	
手数料	3,461	7,761	△4,300	
諸謝金	297	297	0	
交際費	150	150	0	
食糧費	784	784	0	
宣伝広告費	13,703	16,893	△3,190	
イベント費	3,825	4,820	△995	
委託料	13,453	14,317	△864	
原材料費	389	389	0	
租税公課	11,203	9,194	2,009	
負担金	1,210	1,175	35	
支払利息	235	473	△238	
雑費	533	633	△100	
② 管理費	11,461	10,013	1,448	
役員報酬	3,680	2,193	1,487	
給料手当	3,184	3,173	11	
退職給付費用	44	95	△51	
福利厚生費	1,003	761	242	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	18	18	0	
減価償却費	679	735	△56	
消耗品費	54	54	0	
光熱水費	1,306	1,454	△148	
使用料及び賃借料	577	603	△26	
保険料	40	45	△5	
諸謝金	506	506	0	
租税公課	337	343	△6	
雑費	13	13	0	
経常費用計	243,967	257,592	△13,625	
当期経常増減額	△ 9,169	△6,640	△2,529	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 9,169	△6,640	△2,529	
一般正味財産期首残高	287,913	306,781	△18,868	
一般正味財産期末残高	278,744	300,141	△21,397	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	60,000	50,000	10,000	
一般正味財産への振替額	44,934	46,966	△2,032	
当期指定正味財産増減額	15,066	3,034	12,032	
指定正味財産期首残高	176,386	176,752	△366	
指定正味財産期末残高	191,452	179,786	11,666	
Ⅲ 正味財産期末残高	470,196	479,927	△9,731	

平成29年度 正味財産増減予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	0	0	0	3	△3	
基本財産受取利息	0	0	0	3	△3	
② 特定資産運用益	10	0	10	8	2	
特定資産受取利息	10	0	10	8	2	
③ 受取会費	9,413	0	9,413	8,400	1,013	
個人会員会費収入	8,613	0	8,613	7,600	1,013	
法人会員会費収入	800	0	800	800	0	
④ 事業収益	113,178	0	113,178	164,950	△51,772	
教育事業収入	1,058	0	1,058	1,050	8	
水族館管理運営事業収入	110,920	0	110,920	162,800	△51,880	
体験料収入	1,200	0	1,200	1,100	100	
⑤ 受取補助金等	101,384	10,782	112,166	77,560	34,606	
教育事業補助金	21,475	0	21,475	18,639	2,836	
水族館管理運営事業補助金	33,684	0	33,684	2,477	31,207	
管理費補助金	0	10,738	10,738	9,182	1,556	
特定資産取得補助金	1,291	44	1,335	296	1,039	
受取補助金等振替額	44,934	0	44,934	46,966	△2,032	
⑥ 雑収益	26	0	26	26	0	
受取利息収入	1	0	1	1	0	
雑収益	25	0	25	25	0	
⑦ 施設使用料収入	5	0	5	5	0	
施設使用料収入	5	0	5	5	0	
経常収益計	224,016	10,782	234,798	250,952	△16,154	
(2) 経常費用						
① 事業費	232,506		232,506	247,579	△15,073	
役員報酬	1,792		1,792	802	990	
給料手当	53,836		53,836	49,464	4,372	
臨時雇賃金	9,289		9,289	5,928	3,361	
退職給付費用	1,291		1,291	580	711	
福利厚生費	11,349		11,349	9,742	1,607	
報償費	629		629	629	0	
会議費	40		40	40	0	
旅費交通費	3,337		3,337	3,781	△444	
通信運搬費	1,172		1,172	1,172	0	
減価償却費	53,429		53,429	61,174	△7,745	
備品費	567		567	588	△21	
消耗品費	9,378		9,378	10,073	△695	
修繕費	5,563		5,563	7,347	△1,784	
印刷製本費	1,164		1,164	1,302	△138	
光熱水費	23,593		23,593	26,097	△2,504	
使用料及び賃借料	2,682		2,682	7,455	△4,773	

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,254		3,254	3,591	△337	
保険料	898		898	928	△30	
手数料	3,461		3,461	7,761	△4,300	
諸謝金	297		297	297	0	
交際費	150		150	150	0	
食糧費	784		784	784	0	
宣伝広告費	13,703		13,703	16,893	△3,190	
イベント費	3,825		3,825	4,820	△995	
委託料	13,453		13,453	14,317	△864	
原材料費	389		389	389	0	
租税公課	11,203		11,203	9,194	2,009	
負担金	1,210		1,210	1,175	35	
支払利息	235		235	473	△238	
雑費	533		533	633	△100	
② 管理費		11,461	11,461	10,013	1,448	
役員報酬		3,680	3,680	2,193	1,487	
給料手当		3,184	3,184	3,173	11	
退職給付費用		44	44	95	△51	
福利厚生費		1,003	1,003	761	242	
会議費		20	20	20	0	
通信運搬費		18	18	18	0	
減価償却費		679	679	735	△56	
消耗品費		54	54	54	0	
光熱水費		1,306	1,306	1,454	△148	
使用料及び賃借料		577	577	603	△26	
保険料		40	40	45	△5	
諸謝金		506	506	506	0	
租税公課		337	337	343	△6	
雑費		13	13	13	0	
経常費用計	232,506	11,461	243,967	257,592	△13,625	
当期経常増減額	△ 8,490	△ 679	△ 9,169	△ 6,640	△ 2,529	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,490	△ 679	△ 9,169	△ 6,640	△ 2,529	
一般正味財産期首残高	—	—	287,913	306,781	△ 18,868	
一般正味財産期末残高	—	—	278,744	300,141	△ 21,397	
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	60,000	0	60,000	50,000	10,000	
一般正味財産への振替額	44,934	0	44,934	46,966	△ 2,032	
当期指定正味財産増減額	15,066	0	15,066	3,034	12,032	
指定正味財産期首残高	166,386	0	176,386	176,752	△ 366	
指定正味財産期末残高	181,452	0	191,452	179,786	11,666	
Ⅲ 正味財産期末残高	—	—	470,196	479,927	△ 9,731	

平成29年度 資 金 計 画 書

(単位：千円)

受 入 資 金		支 払 資 金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	0	事業費支出	171,386
特定資産運用収入	10	管理費支出	10,638
事業収入	112,928	特定資産取得支出	11,335
会費収入	9,413	固定資産取得支出	8,908
補助金等収入	127,232	借入金返済支出	50,000
施設使用料収入	5	その他財務活動支出	3,857
雑収入	26	未払金	6,500
特定資産取崩収入	12,760	預り金	10,000
未収金	250		
預り金	10,000		
前期繰越金	0		
合 計	272,624	合 計	272,624
		差 引	0